

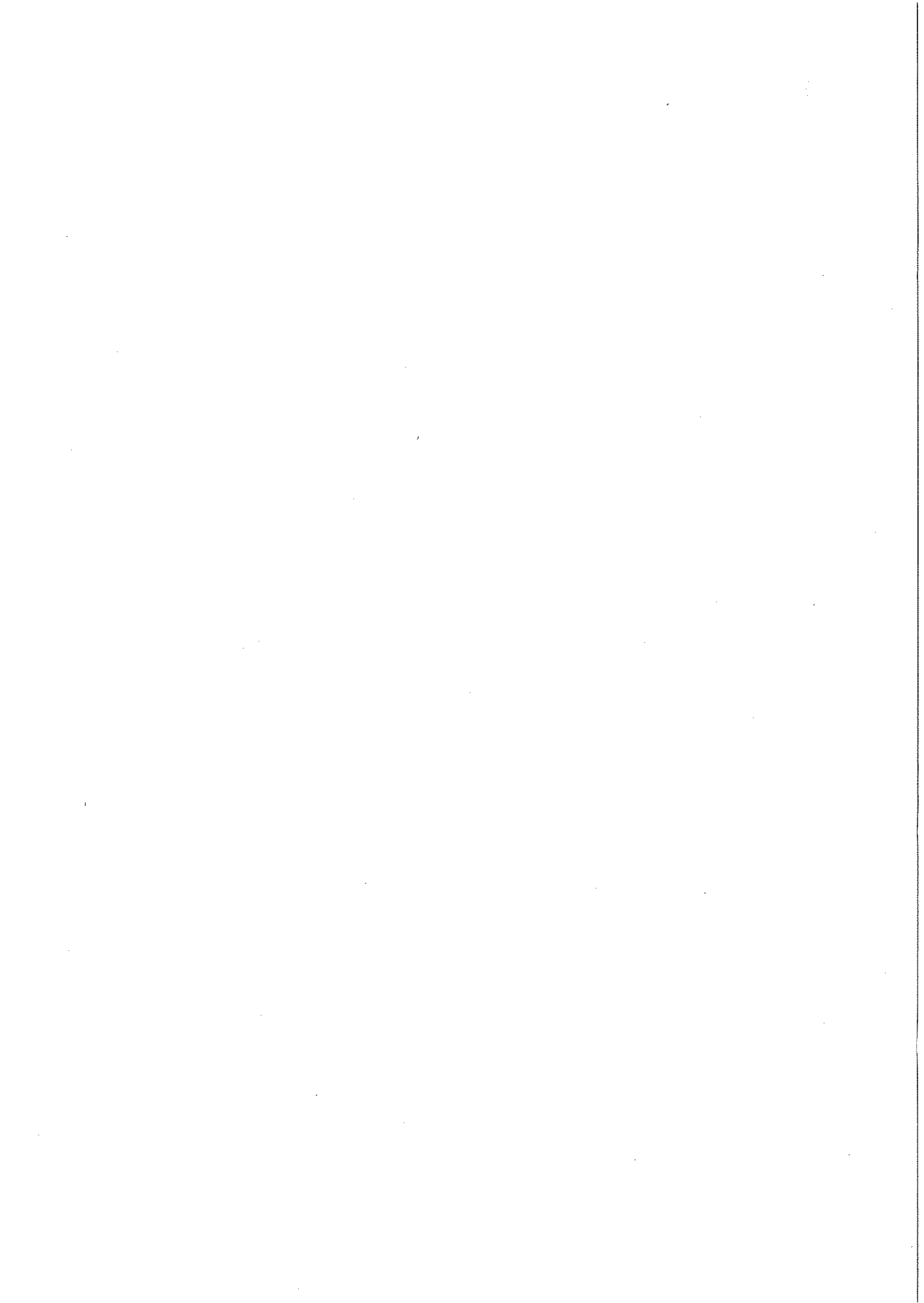


平成20年度倉敷市市民企画提案事業の評価及び
平成21年度継続事業の審査について

答 申

平成21年3月25日

倉敷市市民企画提案事業審議会



平成20年度倉敷市市民企画提案事業の評価及び

平成21年度継続事業の審査について（答申）

目 次

	頁
市民企画提案事業審査結果	1
委員名簿	15
参考資料	
（1）諮問書	16
（2）倉敷市市民企画提案事業審議会条例	17
（3）倉敷市市民企画提案事業実施要綱	19

倉敷市市民企画提案事業審議会は、倉敷市が実施した平成20年度市民企画提案事業の実施結果の評価と同事業のうち平成21年度の継続事業として応募のあった事業について、評価、審査を行う機会を与えられました。

各事業を評価、審査するにあたり、本事業の実施により、協働による行政運営の機運が高まったことを期待して審査会に臨みました。

本事業が地域の活性化や社会環境等の改善につながり、市民サービスの向上に寄与することを念頭に、平成20年度実施事業の評価では、事業成果報告書及び協働事業評価書の内容を吟味し、報告会での発表内容、質疑応答を踏まえ、当初の目的に沿った内容であったか、どの程度の効果があったか等、事業成果の検証に努めました。更に、平成21年度の継続提案事業については継続の必要性について慎重に審議しました。

結果として、平成20年度実施事業の評価（評価得点によりS・A・B・C）では、S評価に至った事業はありませんでしたが、A評価の事業が16件、B評価の事業は2件、C評価の事業は0件で、全事業が相応の成果を挙げているとして評価したところで

す。

また、継続事業の審査対象となった7件については、全てが採択基準点を超えるという審査結果となりました。

講評については、次の「審査結果及び講評」に併記させて頂きました。

最後になりますが、倉敷市市民企画提案事業の事業目的に御理解いただき、さらには審査にかかる質問等に関しても丁寧に対応して下さった関係者の皆様に心からお礼を申し上げます。

平成21年3月25日

倉敷市市民企画提案事業審議会
会長 鈴井 江三子

【選考過程】

事前に配布された事業報告書、収支精算書、協働事業評価書等を基に、3月15日に開催された事業成果報告会において、提案団体による事業実績や収支決算に関する説明と、担当課による意見発表、審議会委員による質疑応答を行った。

平成20年度実施事業18事業について、当初の目的を達成できたか、事業内容はどうであったか、また、公益性、協働性や波及効果などの観点から評価を行った。

さらに、次年度への継続を希望する事業は当初8事業の予定であったが、1件の取下げがあり、報告会においては7事業について、継続することの有効性、事業内容の発展性、費用負担の適正について審査した。

【評価基準】

公平性を確保するため、提案事業の関係者となる委員は審査を外れることとし、各委員ごとに事業評価及び継続審査の採点を行うこととした。事業評価については、提案事業ごとに各委員100点を持ち点とし、継続審査については同じく40点を持ち点とした。いずれも全委員の得点のうち最高点及び最低点を除いた得点の平均点を評価点とした。

継続提案事業の採択基準は評価点が50点以上、継続審査基準を20点以上の両方を満たすものとした。

事業評価<評価項目及び配点(100点満点)>

評価項目		評価のポイント	配点
公益性	① 目的 (公益性) (重要性) (緊急性)	事業の目的が達成されているか (達成されている)(ある程度達成されている) (あまり達成されていない)(達成されていない)	20
		不特定多数の者の利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業となったか 事業の緊急性・重要性など課題の解決に結びついているか	
事業の成果	② 事業内容 (計画性)	事業内容の達成度合いはどうか (達成されている)(ある程度達成されている) (あまり達成されていない)(達成されていない)	20
		期待される成果があがっているか	
		当初の目的に沿った事業内容が計画どおり実施されているか	
		実施時期が適切であり、十分な準備期間・手段が取られていたか	
③ 費用負担	当初計画の参加者、出席者、利用者数などが達成されているか	10	
	事業収支は適切であったか 費用対効果はどうかであったか		
④ 人材配置	事業実施にあたり人的支援(技能・能力)は充分であったか	10	
	ボランティアスタッフや他の団体を巻き込んで実施されていたか		
協働性	⑤ 協働性	市民団体と行政が協働で取り組むことにより、効果的な事業となったか	20
		提案団体と市の役割分担が明確かつ妥当で、それぞれの役割を果たしていたか 役割分担を果たすための協議が充分になされ、相互理解ができていたか	
効果及 独自性・将来性	⑥	他の団体(行政を含む)に先駆けた内容もしくはモデルとなる事業となったか	20
		事業への理解が得られ発展性・普及性がある事業となったか	
評価区分		S(期待された成果を十分に達成).....90点以上	
		A(期待された成果を一定以上達成).....70点以上90点未満	
		B(期待された成果を一応達成).....50点以上70点未満	
		C(期待された成果が達成されていない).....50点未満	

継続事業審査<評価項目及び配点(40点満点)>

継続の必要性	継続の有効性	継続することにより、前年以上の効果が見込めるか	20
		提案団体と担当課の双方が、事業継続の効果が高いことを見込んでいるか	
	事業内容の発展性	20年度の事業実施結果を基に、事業内容のステップアップ等を行い、事業の発展性が見込まれるか	10
費用負担の適正	費用負担の適正	予算配分は適切であるか	10
		経費節減を図り、無駄のない予算となっているか	
		自己資金の調達は担保されているか	

審査結果及び講評

平成20年度に実施した市民企画提案事業の18事業について成果報告が行われた。このうち平成21年度の継続提案事業は7件であった。

平成20年度で事業を終了する市民企画提案事業の評価(評価得点によりS・A・B・C)は、S評価に至った事業はなかったが、A評価は10事業、B評価が1事業であった。

A評価のあった10事業の中で、高い評価を受けたのは「テーブルまびに向けて」と「障害児者と高齢者に対して地域活動支援事業」であり、地域の中で障害者と地域住民が交流しながら共生することに取り組み、その成果が伺えた事業であった。

その他では、「花あふれる街玉島」、「ホテルの棲息できる自然環境の復元」や「中心市街地の安全・安心・案内を目指す天領見廻り組の創設」等も、地域住民による地域の活性化や環境改善に取り込んだものであり、広く一般市民も参加し事業目標も達成していたことから高い評価を得た事業であった。また、地域の健康増進を目的として取り組んだ事業では、「ドメスチックバイオレンス防止のための啓発及び被害者サポート事業」、「高齢者軽スポーツリーダー養成講座」や「母と子のスタートライン支援事業」等もそれぞれ特色のある事業を展開していた。これらの事業は、団体が企画した事業に広く市民が参加し、利用することで、地域住民の健康を促進、維持するものであり、事業の活動内容が積極的で活動的であることから、継続を強く期待されるものであった。

さらに、「地域の歴史・文化の保存、継承」や「オーストリア・くらしき現代美術交流展」は、歴史や絵画等を大事にする倉敷の特徴を活かした事業であり、中々実現できない内容を成果として達成していた。

この他、行政提案事業であった「たんぼの花を咲かそう」は、地域の中で無理のない子育て支援を行い、その中から行政に政策提言を目的として始めたものであった。特徴として、助産師や看護師等の専門性を生かした子育て支援事業であり、本事業から得た示唆を行政事業に反映することで当初の目的を達成したといえる。

平成21年度の継続提案事業は全7事業であり、このうちA評価は6事業、B評価は1事業であったが、B評価となった事業も事業内容と活動意欲はとても高く評価されたものであった。

全体として、高い評価を受けた事業は行政との協働も充実しており、広報活動、資源の活用、他団体との連携が上手く行われているものであった。

しかし、その一方で、それらの連携が上手く行っていない場合は、事業を運営する団体責任者の疲弊感が伺え、今後、事業を推進するには、行政の適切な助言や連携が重要であると思われる。団体同士の連携を上手にすれば、更なる内容改善や継続に繋がると思われる事業が目立った。また、今後の報告会のあり方を検討する必要があると考える。

平成20年度事業評価及び平成21年度継続事業審査結果

部門	事業名	提案団体名	評価	継続の可否
市民提案	いじめ・不登校・虐待への新たな対応 ～福祉的視点を通じて～	NPO法人 kitalpha	A	可
	竹林音楽祭	エコプロジェクト事業 推進委員会	A	可
	IT-ボランティア育成講習会の実施	ボランティアグループ IT-ふたば会	B	可
	わくわく親子イベント 僕たちの未来を描こう	おかやまコープクラブ 倉敷子どもの未来を考える会	A	可
行政提案	乳がん撲滅キャンペーン！！と乳がん術後のケア！！	QOL“輪唱”岡山 テイクハート	A	可
	三島中洲の資料情報の収集と台帳化	中島学区郷土を学ぶ会	A	可
	倉敷川の水辺に親しむ 環境教育・水辺の再生事業	蔵おこし湧々	A	可

平成20年度事業評価結果

部門	事業名	提案団体名	評価
市民提案	障害児者と高齢者に対して地域活動支援事業	NPO法人 いちご一会	A
	母と子のスタートライン支援事業	さくらんぼ教室	A
	ホテルの棲息できる自然環境の復元	倉敷ホテル愛好会	A
	オーストリア・くらしき現代美術交流展	倉敷文化環境を考える会	B
	「テーブルまび」に向けて	NPO法人 岡山マインド「こころ」	A
	地域の歴史・文化の保存, 継承	中庄の歴史を語り継ぐ会	A
	中心市街地の安全・安心・案内をめざす「天領見廻り組」の創設	倉敷再生まちづくり計画を実現する会	A
	花あふれる街玉島	NPO法人 21世紀の環境づくりを進める会	A
	ドメスティックバイオレンス防止の為の啓発及び被害者サポート事業	びあサポート・倉敷	A
高齢者軽スポーツリーダー養成講座	NPO法人 スポーツライフ'91天城	A	
行政提案	『たんぼぼの花を咲かそう』 —地域ネットワークの中で、 無理のない楽しい子育てを—	NPO法人 倉敷子育てネットワーク・たんぼぼファミリー	A

各事業講評

(平成21年度に継続を希望する事業)

市民提案部門

事業名	いじめ・不登校・虐待への新たな対応 ～福祉的視点を通じて～	評価：A
提案団体 市担当課	NPO法人 kitalpha 教育センター	
提案事業 概要	「いじめ・不登校・虐待への新たな対応」に関する講演会とパネルディスカッションを開催する。理論及び実践に関する講習会を開催する。各種講習会や講演でアンケート実施し、データを集計する。	
講評	<p>本事業は、いじめ・不登校・虐待防止とスクールソーシャルワークの理解を深めるための取り組みであり、子どもを取り巻く環境がこれらの諸問題を包含していることから、社会のニーズにあった活動であると考えられる。主な活動は、教職員や一般市民を対象にした講演会、講習会、及びパネルディスカッションであり、それらの企画においてはスクールソーシャルワーカー制度導入にむけて熱心な意見交換会が行われたという。</p> <p>しかし、その一方で講座回数は3回であり、一般市民の参加者を含めても99名であることから、費用対効果の面で工夫が求められるとの指摘があった。今後、継続事業として実施する際は、広報活動に留意し、広く一般市民の参加につながる工夫が必要である。</p>	

事業名	竹林音楽祭	評価：A
提案団体 市担当課	エコプロジェクト事業推進委員会 真備支所産業課	
提案事業 概要	箭田大塚古墳周辺の竹林で、竹を材料とした楽器等の演奏による音楽祭を行う。整備された緑の竹林の美しさを鑑賞していただくため、ライトアップ、竹キャンドルによる演出を行う。	
講評	<p>本事業は、箭田大塚古墳周辺の竹林を利用した音楽祭であり、真備の竹林を観光資源として全国的に広め、地域の活性化を促すことを目的にしたものである。また、竹を材料とした化粧水や地酒等の特産物の開発や、それらの展示販売も行うことを企画しており、地域ブランドのPRにつながることから高く評価した事業であった。</p> <p>しかし、今年度は補助額が少なくなることから入場料を徴収する計画をあげており、有料になると参加者が激減するのではないかと危惧される。そのため、市民が参加しやすい金額の設定や徴収方法についてを検討されたい。</p>	

事業名	IT-ボランティア育成講習会の実施	評価：B
提案団体 市担当課	ボランティアグループ IT-ふたば会 情報政策課	
提案事業 概要	IT-ボランティア育成講習会を契機として、情報化社会に望まれる、基礎的事項を指導出来る熱意を持ったボランティアの育成を図る。指導内容はインターネット・メールの利用 賀状などの簡単な文章の作成。	
講評	<p>本事業は、情報化社会を勘案し、広く一般市民がIT機器を利用できるようにするため、IT-ボランティアとしての人材育成を目的とした事業である。そのため、パソコンやインターネット等、ITに関する基礎的知識と技術を修得し、初心者に対して、インターネット・メールの利用や賀状等、簡単な文章の作成方法を指導できる人材育成をを行っていることから、市民の需要にあった事業であり、担当団体の事業姿勢に対して高く支持する意見もあった。そのため、事業内容は前年度とほぼ同様であるが、審議の結果、継続事業として採択された。</p> <p>しかし、事業計画案として提出された予算配分と事業内容の具体性が不明瞭であり、事業や予算の工夫が望まれる。</p>	

事業名	わくわく親子イベント 僕たちの未来を描こう	評価：A
提案団体 市担当課	おかやまコープクラブ倉敷子どもの未来を考える会 市民活動推進課	
提案事業 概要	夏休みに親子で未来について真剣に考えるわいわい会議を開催します。その後、子ども達は豊かな発想で絵を描いて、美術館で展示します。子ども達の作品を多くの市民が鑑賞するよう絵本の読み聞かせやコンサート等を実施します。	
講評	<p>本年度の事業内容は、子ども達の感性や創造性を豊かにするため、夏休みに親子で未来について語り合い、一緒に絵画を描き美術館に展示をするものであった。絵を親子で一緒に描くことは親子のふれ合いにもつながり、子どもの健全育成にも意義のある事業であると考えます。そして、次年度は、さらに参加者を広く一般に募集するために、親子で描いた絵を募集し、それを基に絵本を出版し、公的施設に寄付し、希望者には販売するというものであった。</p> <p>提出された事業計画では、絵本の販売先、販売部数、協賛企業団体等が不明確であったため、それらの具体的な計画性を明確に提示する必要性が指摘された。また、絵を募集する際、広報紙に掲載する内容は、「絵本にする絵は選択する」、「絵本は希望者に販売する」など、参加者に誤解されない表現にする必要がある。</p>	

行政提案部門

事業名	乳がん撲滅キャンペーン！！と 乳がん術後のケア！！	評価：A
提案団体 市担当課	QOL“輪唱”岡山 テイクハート 健康づくり課	
提案事業 概要	乳がんの正しい知識と早期発見の為にマンモグラフィ及び日常生活のサポートの大切さを知ってもらうとともに、必要な人にはサポートを行う。	
講評	<p>乳がんの正しい知識を得て、その早期発見をすることは女性にとって、非常に大切なことである。また、乳がん体験者・克服者による、告知を受けた人や手術を受けた人たちへの不安解消・早期社会復帰への支援は、さらに重要なことと思われる。そのための相談会・支援会などの活動は非常に高く評価した。</p> <p>ただし、20年度の事業では、多くの広報・啓発活動、講演会、展示会、発表会活動などを行っているが、いま一步踏み込んだ活動には至っていない点が見受けられた。</p> <p>市民・女性にとって重要な事案であるので、今後、行政とも十分話し合い・協力を得て、さらにきめ細かな取り組み・効果的な活動を行ってもらえることを期待する。特に広報・キャンペーン活動にPTA団体などに協力してもらおうなどの工夫が求められる。</p>	

事業名	三島中洲の資料情報の収集と台帳化	評価：A
提案団体 市担当課	中島学区郷土を学ぶ会 文化振興課	
提案事業 概要	三島中洲に関する講演会の開催。情報収集・研究成果の小冊子の刊行。関連資料の検索・情報収集活動。資料のデジタルデータ収集と台帳化。中島小学校の総合学習の題材とする。三島中洲の設立した二松学舎大学との連携を図り、研究の道筋をつくる。	
講評	<p>地域の偉人の業績を顕彰し、子ども達や後世に伝えることは大切である。</p> <p>本事業は三島中洲の功績を広く世に知らしめる活動である。本年度はまず、研究資料を集めるための協力依頼をはじめ、基礎固めに力を注ぎ、各界の人々・専門家による講演会・勉強会を行い、資料調査にも取り組んでいる。また、多くの児童参加者への啓蒙活動にも力を注ぐなど地元の関心を高め、コミュニティーの構築にも役立っており、十分評価できる。</p> <p>この成果を基に、各種講演会などを通じて広く市民や、小学生へ郷土歴史の理解を深めるとともに、多くの資料収集を図り、より効果的・効率的な活動となるよう工夫して行われることを要望する。</p> <p>なお、学術的な資料収集・研究活動以外にも、関心の薄い住民、小学生のための分かりやすい簡単な入門書・ストーリー的冊子の発行なども期待したい。</p>	

事業名	倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生事業	評価：A
提案団体 市担当課	蔵おこし湧々 下水計画課	
提案事業 概要	カワセミやホタルの住める川づくりのための講演会や水辺コンサートを開催するとともに、倉敷川的美観地区を中心に、水辺の生き物調査、親子水辺教室を実施し、継続的に倉敷川の清流保全のための市民活動を普及する。	
講評	<p>良い都市の指標・条件の一つに良い川があることが挙げられる。観光客の印象だけでなく、我々倉敷市民にとってもこの川の存在は大きい。この川を活かす本事業は意義あることである。</p> <p>川のクリーン作戦をはじめ観察会などが行われているが、特に子どもたちが自由に水の中に入って作業をし、自然を直接体感する機会を多く持つことは意義あることと高く評価した。しかし、単なる表面的な活動、一部流域の浄化作戦・イベントに終わらせず、流水量の確保を図り、さらに自然に配慮した護岸改修を含む倉敷川の自然環境改善にまで進展することを期待する。そのためにはさらに広範囲な団体、行政との協働が望まれ、また各種メディア、パソコンなどの通信・広報手段の利用なども重要になってくるものと考えられる。将来を見越した全国に誇れる河川づくり・まちづくりを期待する。</p>	

(平成20年度で終了する事業)

市民提案部門

事業名	障害児者と高齢者に対して地域活動支援事業	評価：A
提案団体 市担当課	NPO法人 いちご一会 玉島福祉課真備分室	
提案事業 概要	障害児・者、高齢者に対して地域活動支援事業等に関する事業を行い、安心して生き生きと地域生活が出来るよう、健全な育成と社会人として自立を図るとともに、地域福祉、社会全体の利益に寄与することを目的とする。	
講評	<p>ハンデを抱える障害者や高齢者と地域の人々が集まり交流の場を持つことは、それぞれの立場の人にとって重要なことである。本事業はそのふれあいの場として、気軽に楽しく集える「いちごの家」を立ち上げ、毎月様々な交流・集いを企画・実施することで相互理解がされたことを評価する。</p> <p>今後はこれまでの活動を活かし、一層行政との協力を得て広報活動にも力を入れ、さらに多くの地域住民の参加を得て、交流活動に力を入れ、効果的な成果を上げられることを期待する。</p>	

事業名	母と子のスタートライン支援事業	評価：A
提案団体 市担当課	さくらんぼ教室 子ども家庭課	
提案事業 概要	”場”を提供することで、情報交換が行いやすくし、助産師の専門性を活かした支援プログラムをすることで母子の孤立を防ぐ。	
講評	地域で子育てをする親と子を対象に、親子同士の触れ合いができる”場”を提供することで、親同士の情報交換を促すものであった。また、助産師の専門性を活かし、リラクゼーションを図るためのベビーマッサージや子育て相談を提供することで母子の孤立を防ぐ取り組みを行い、参加者からも高い評価を受けた事業であることから、今後も継続が望まれる事業であった。	

事業名	ホタルの棲息できる自然環境の復元	評価：A
提案団体 市担当課	倉敷ホタル愛好会 環境政策課	
提案事業 概要	ホタルが棲息できるよう河川を整備し、ホタルの幼虫を飼育し、放流したり、ホタルの観賞会を開いたりして、ホタルの乱舞する様子を多くの人々にあじわってもらい、自然や命の大切さを理解してもらおう。	
講評	自然環境の復元を目的として、ホタルが棲息できるよう河川を整備し、子どもたちも含めて地域住民が安心して歩ける歩道整備も行っている。また、ホタルの幼虫を飼育、放流し、6月にはホタルの観賞会を開くなどして、ホタルの乱舞する様子を多くの人々に味わってもらい、自然や命の大切さを理解してもらおう取り組みを行っていることから、とても高く評価した事業であった。	

事業名	オーストリア・くらしき現代美術交流展	評価：B
提案団体 市担当課	倉敷文化環境を考える会 美術館	
提案事業 概要	平成20年6月24日から29日まで倉敷市立美術館で倉敷側作家11人とオーストリア側作家14人で交流展を開催。期間中、来日作家によるギャラリートークや歓迎会など市民との交流行事を実施予定。	
講評	倉敷市立美術館で倉敷側作家11人とオーストリア側作家14人で交流展を開催したものであった。倉敷において、現地から現代美術作家を招いて行った、交流会は文化交流の観点から高く評価するものである。また、絵の観覧者も期間中902名と多く、費用対効果も十分であったといえる。しかし、報告会のプレゼンテーション準備が不十分であり、事業内容が十分に伝わらず残念であった。	

事業名	「テーブルまび」に向けて	評価：A
提案団体 市担当課	NPO法人 岡山マインド「こころ」 障害福祉課	
提案事業 概要	真備町の中で「障害」の当事者・家族を中心に据えて、「身近な顔の見える」つながりを基に、「テーブルまび（障害者自立支援協議会・真備版）」の設立に向けて、毎月の話し合いと、協同企画を実施するものです。	
講評	障害を持った人達がのびのびと地域の中で生活するために、2年間の準備期間を費やして企画の立案、広報、情報発信を行い、障害者と地域住民の交流の場をもうけた点を高く評価する。また、担当課も話し合いの場に参加し、上手く連携しながら行った事業であった。それが功を奏し、障害者の自立支援につながっている事は非常に意義のある事業であったといえる。地域福祉の面からも、今後の団体としての活動に強く期待する。	

事業名	地域の歴史・文化の保存、継承	評価：A
提案団体 市担当課	中庄の歴史を語り継ぐ会 文化財保護課	
提案事業 概要	地域の歴史を学ぶことにより、新・旧住民の“ふるさとへの意識”の醸成に努めたい。また、子どもや若い人たちにも郷土の歴史への関心を持ってもらいたい。	
講評	<p>中庄地区の歴史を記録にとどめ、後世に伝えるための事業は、地域住民のためだけでなく市民の歴史観を高める意味からも大切である。</p> <p>本事業は旧帯江鉱山と六間川に関する講演会や犬島精錬所・六間川の見学・勉強会などを行っており、より深い歴史や文化を学び、次世代に継承していく活動を行っている。地域の歴史に人々の目を向けさせたことは評価でき、明日のまちづくりに役立つものと考えられる。今後再発見できた記録・資料などのまとめが出されることを期待する。</p>	

事業名	中心市街地の安全・安心・案内をめざす 「天領見廻り組」の創設	評価：A
提案団体 市担当課	倉敷再生まちづくり計画を実現する会 市民活動推進課	
提案事業 概要	中心市街地の見廻りを実施し、公園等公共施設の実態、廃屋等の危険箇所及び落書き等の問題点が把握された。これらの実態を情報発信することにより、その改善や予防対策を地域住民とともに実施する組織づくりを図る。	
講評	<p>活力が失われつつある中心市街地の実態・問題点を把握し、安全安心のまちづくり活動を行ってきたことは評価できる。20年度は、特に子どもたちの通学路の安全性を確保し、改善するための見守りパトロールを行い、安全で住みよい街づくりに取り組み、効果を挙げている。今後も見回りを楽しみながら、隠れた名所の発信も行い、安全で活気のある良い街づくりを心がけ、住民だけでなく観光客にとっても好印象の中心市街地を目指す努力を期待したい。今後、周辺町内会の協力を得て、広範囲な取り組みの広がりを期待する。</p>	

事業名	花あふれる街玉島	評価：A
提案団体 市担当課	NPO法人 21世紀の環境づくりを進める会 公園緑地課	
提案事業 概要	新倉敷駅北側の歩道や緑地帯に、同地区の住民と協力して草花をうえ、年間を通じて管理する。この活動を玉島全域に広げるため、草花の苗を育て地域の皆様に配布して育ててもらう。	
講評	<p>住民が相互に協力し、良い自然環境づくり活動を行うことは大切である。住民が積極的に参加した新倉敷駅北地区の緑化への取り組みは評価できる。</p> <p>多くの地域住民・学生・企業の参加が得られた活発な事業となりつつあるが、今後この花いっぱい・緑いっぱい運動を駅の南側から玉島地区全域に広げる活動が、行政・広範な市民の協力を得て、さらに発展してゆくことも期待したい。</p> <p>また、協働の精神を培うと同時に、情操教育の一環として、子どもたちの参加も望まれるところである。花苗の配布方法に工夫が必要であった。</p>	

事業名	ドメスティックバイオレンス防止の為の啓発 及び被害者サポート事業	評価：A
提案団体 市担当課	ぴあサポート・倉敷 男女共同参画課	
提案事業 概要	名刺大の大きさのカードを作成しリーフレット等と共に各種イベントで配布する。暴力撲滅推進月間（11月）に電話相談を受ける。相談によっては個別相談も受ける。	
講評	<p>近年、ドメスティックバイオレンス防止や被害者への相談・ケアの重要性が認識され始めている。</p> <p>本事業は、相談カードの配布や勉強会、電話相談受付などの活動により、ドメスティックバイオレンス防止の啓発や被害者をサポートするなど、高く評価できる。</p> <p>今後は、カードの効果的配布法を工夫し、行政や他団体とも協働して、悩みを持つ人々が気軽に相談できるシステムを考え、その解決の手助けをすることを期待する。広報に関しては、行政の支援を得ることによる信頼性に加え、手渡しカード以外での周知方法も必要であると思われる。</p>	

事業名	高齢者軽スポーツリーダー養成講座	評価：A
提案団体 市担当課	NPO法人 スポーツライフ'91天城 高齢福祉課	
提案事業 概要	高齢者が気軽に楽しむことの出来る数多くの軽スポーツを紹介します。参加者はこの中から自分たちの地域団体に適したスポーツを見出し、日々の生活の中に取り入れていただくことを目的としています。	
講評	<p>高齢者が増加してゆく中、それらの人々が健康に楽しく過ごせる機会や場を提供することは大切である。</p> <p>本事業では、高齢者がスポーツを気軽に楽しむため軽スポーツの普及や指導者の養成を行ってきたことを評価するものである。</p> <p>今後は効果的な広報活動、資金づくりなどの問題解決のため、行政や他の様々な分野との協働を進めていくことが大切になってくる。また、より多くの参加者を確保するためには、今後各種団体、中でも老人クラブなどへの呼びかけが効果的であると思われる。</p>	

行政提案部門

事業名	『たんぽぽの花を咲かそう』 ー地域ネットワークの中で、無理のない楽しい子育てをー	評価：A
提案団体 市担当課	NPO法人 倉敷子育てネットワーク・たんぽぽファミリー 子ども家庭課	
提案事業 概要	子育てを支援する団体とのネットワークを構築し、親子ふれあいイベント(音楽鑑賞・生演奏)ピクスやベビーマッサージをする。そして、地域の人的・物的資源を有効に活用しながら、無理なく子育て支援を行う。	
講評	<p>地域で子育てをする親と子を対象に、子どもを同伴して参加できる生演奏による音楽鑑賞を企画し、加えて、助産師などの専門職によるマタニティピクスやベビーマッサージを実施するものであった。地域の人的・物的資源を有効に活用しながら、無理なく子育て支援を行う本事業は、その成果を行政事業にも反映しており、継続が望まれた事業であった。</p>	

倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿

	氏 名 (敬称略)	所 属 等
	あだち れいと 安達 励人	倉敷市立短期大学 准教授
	おざき ひろこ 尾崎 浩子	水島おかみさん会 会長
副会長	かわべ せいいちろう 河邊 誠一郎	倉敷の自然をまもる会 会長
	こやま えつし 小山 悦司	倉敷芸術科学大学 教授
会長	すずい えみこ 鈴井 江三子	川崎医療福祉大学 教授
	つちや ひとみ 土屋 瞳	男女共同参画フォーラム2000まび 代表
	はらだ じゅんこ 原田 純子	市民
	ひらい けんじ 平井 健司	倉敷青年会議所 常任理事
	まきの ようこ 牧野 陽子	市民
	もりひろ のぶゆき 森廣 伸之	岡山県備中県民局協働推進室 室長
	もりもと きよし 森本 潔	児島商工会議所 事務局長
	もりや みゆき 守屋 美雪	ふるさとともたろう塾 卒業生

50音順

